

コロナウイルス文献情報とコメント(拡散自由)

2022年8月14日

BMJ:成人感染者の8人に1人がロングコロナ

日本のデータ紹介

### 【松崎雑感】

オランダの調査では、コロナ感染者の16%がロングコロナ（無症状感染者除外の調査）。日本の中等症以上の入院感染者の13%がロングコロナとみられています。日本でも感染した方々の数十万人以上がロングコロナで悩まされていると思います。

## 成人感染者の8人に1人がロングコロナ

Mahase E. Covid-19: One in eight adults develops long covid symptoms, study suggests. *BMJ*. 2022;378:o1946. Published 2022 Aug 4.  
doi:10.1136/bmj.o1946

オランダにおける調査では、感染者の8人に1人（12.7%）がロングコロナとなっていた[1]。

新型コロナに感染した場合見られることの多い23症状について、コロナ感染者と未感染者にインターネット調査を行った。この成績は本誌に発表された。感染から3～5か月後に新たな重い症状が出現して続いた割合は21.4%（381/1782）、一方同じ観察期間に未感染者における新たな症状の出現割合は8.7%（361/4130）だった。

主なロングコロナ症状は、胸痛、呼吸困難、呼吸時の痛み、筋肉痛、味覚嗅覚障害、手足のしびれ、喉の閉そく感、悪寒、熱感、四肢の脱力、全身倦怠感などだった。

質問票は2020年3月から2021年8月まで各対象者に24回送付された。この時期はアルファ株などが流行しており、多くの人々はまだワクチンを受けていなかった。

7万6千人以上から88万3973件の回答が返送された。回答者の平均年齢は54才、61%が女性。4231人（5.5%）が新型コロナに感染。

対照群として未感染者8462人を抽出（性、年齢、感染時期などをマッチさせた）。

筆頭著者のグローニンゲン大学博士候補アランカ・バレリング氏は「感染者と未感染者について、感染前と後の時期の症状を調査比較することにより、パンデミックのストレスや不安感によって発生する感染が直接原因でない症状の出現頻度も明らかにできた。新型コロナ感染の後遺症は人間社会に大きな負荷をもたらしている。一般人口におけるロングコロナ症状の種類と重さを明らかにできれば、適切なヘルスケアを行う上で有用だ」と語った。

著者らが指摘するこの調査のリミテーションは、エスニシティ別に解析できなかったこと、無症状感染者は感染者から除外されているので、真の新型コロナ感染率が過小評価されていること、さらにブレインフォグというロングコロナ特有の症状が質問項目に入っていなかったことである。

## 【日本のデータ】

厚生労働省の新型コロナウイルス感染症対策アドバイザリーボードは、6月1日に第86回の会議を開催し、その中で新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の遷延症状に関する研究2題が報告された。**中等症以上の患者を対象とした研究では、退院後12ヵ月後でも13.6%の対象者に何らかの罹患後症状が存在していた。**

また、もう一方の長期合併症の実態把握と病態生理解明の研究では、12ヵ月後でも疲労感、呼吸困難、筋力低下、集中力低下などの症状が続いていた。

[コロナ罹患後症状、中年者に多い／厚労省アドバイザリーボード | 医師向け医療ニュースはケアネット \(carenet.com\)](#)